

## 令和 2 年度 事業 報告 書

### 〔1〕 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業 1）

#### 1. 学術講演会の開催

- ・ 第 116 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日 令和 2 年 11 月 24 日～12 月 8 日

場 所 WEB 開催

一般演題発表 71 題

受賞者講演 3 題（学会賞 2 件、学術貢献賞 1 件）

講演要旨集発行部数 100 部

参加者数 約 368 名（有料参加者 331 名）

#### 2. 特別シンポジウムの開催

##### 2-1 第 23 回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

（公社）日本食品衛生学会 関東ブロックイベント

第 1 部： 第 2 回食品に関するリスクコミュニケーション 公開セミナー

第 2 部： （公社）日本食品衛生学会創立 60 周年記念 第 23 回特別シンポジウム

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生協会 公益社団法人日本食品衛生学会

開催日 令和 3 年 2 月 25 日 15：00～16：20

場 所 ライラス（Zoom オンライン配信）

第 2 部： （公社）日本食品衛生学会創立 60 周年記念 第 23 回特別シンポジウム

テーマ：「新型コロナウイルスと食品安全～世界の動向、東京の展望

1. COVID-19 に対する ICMSF の見解 春日文子（国立環境研究所）

2. 東京都における COVID-19 の現状と検査

吉村和久（東京都健康安全研究センター）

参加者数 200 名

##### 2-2 ブロックイベント

- ・ 近畿ブロック（公開セミナー）

公益社団法人日本食品衛生学会ブロックイベント

近畿ブロック 公開セミナー

食品に関するリスクコミュニケーション：残留農薬等のリスクアナリシスについて

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生協会 公益社団法人日本食品衛生学会 立命館大学薬学部

開催日時 令和2年12月18日 13:00~17:00

開催場所 立命館大学BKC (Zoom オンライン配信)

講演内容 食品に関するリスクコミュニケーション「知ろう～残留農薬～」

1. 残留農薬等のレギュラトリーサイエンス

穂山 浩 (国立医薬品食品衛生研究所)

2. 残留農薬等の安全性評価 吉田 緑 (内閣府食品安全委員会)

3. 残留農薬等の分析とは 永山 敏廣 (明治薬科大学)

4. 残留農薬等の規格基準について

糸井 雄一 (厚生労働省 食品基準審査課)

参加者数 130名

参加費 無料

・関東ブロック

(公社)日本食品衛生学会 関東ブロックイベント

第1部: 第2回食品に関するリスクコミュニケーション 公開セミナー

第2部: (公社)日本食品衛生学会創立60周年記念第23回特別シンポジウム

共同主催 厚生労働省、公益社団法人日本食品衛生協会 公益社団法人日本食品衛生学会

開催日 令和3年2月25日 13:00~14:50

場 所 ライラス (Zoom オンライン配信)

第1部: 第2回食品に関するリスクコミュニケーション 公開セミナー

講演内容 残留農薬等のリスク評価と管理について

1. 残留農薬等のレギュラトリーサイエンス

井上隆弘 (厚生労働省医薬・生活衛生局)

2. 残留農薬等の安全性評価 吉田 緑 (内閣府食品安全委員会)

3. 残留農薬等の分析とは 永山 敏廣 (明治薬科大学)

参加者 213名

参加費 無料

3. 公開講演会

・下記の平成2年度創立60周年記念公開シンポジウムは中止した。

開催日 令和2年6月15日

場 所 日本橋公会堂ホール (東京都中央区)

内 容 「日本の食文化と発酵」(仮) 小泉武夫 (東京農大)

#### 4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・主催 日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会  
「ifia JAPAN2020 食の安全・科学フォーラム 第19回セミナー&国際シンポジウム」  
は下記を中止した。

開催日 令和2年4月22日  
場 所 東京ビッグサイト 青海展示会場内  
内 容 第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性  
第二部 穀物の衛生管理

- ・関連学会等への共催・協賛・後援

当学会は、関連学会等の団体に下記のとおり共催・協賛・後援を行った。

共催 公開シンポジウム「食の安全と環境ホルモン」（令和2.12.5）  
協賛 第18回食品安全フォーラム（令和2.11.27）、熱測定オンライン討論会  
2020（令和2.10.26-28）、第47回日本毒性学会学術年会（令和2.  
6.29-7.1）、熱測定スプリングスクール2020（令和2.3.12-13）、  
後援 生命金属に関する合同年会（令和2.11.6-7）

#### 〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌（6冊）	第61巻2号～6号	各発行部数	2,050部
	第62巻1号	発行部数	2,100部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	1,000部
第116回学術講演会要旨集		発行部数	100部
啓発用のリーフレットの作成		印刷部数	1,000枚

- ・下記を学会HPに掲載した。

残留農薬等のデータベース  
リスクコミュニケーションの動画

#### 〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和2年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第116回学術講演会において下記のとおり行った。

「学会賞受賞者」

穂山 浩（国立医薬品食品衛生研究所）「食品表示と自然毒等のレギュラトリーサイエンス研究」

一色賢司（一般財団法人 日本食品分析センター）「微生物制御とその関連

技術の開発に関する研究」

「学術貢献賞受賞者」

林谷秀樹（東京農工大学大学院）「食品における病原性エルシニア菌の生態の解明と高感度迅速検出法の開発」

- ・食品衛生学雑誌第 60 巻論文賞授賞式を第 116 回学術講演会において下記のとおり行った。

「ストロンチウム抽出カラムを用いた緊急時に適用可能な食品中のストロンチウム 90 (Sr-90) 迅速分析法の確立 <報文>」 第 60 巻第 2 号 p. 7~15  
鍋師裕美\* 堤 智昭 松田りえ子 蜂須賀暁子 穉山 浩 国立医薬品食品衛生研究所

「東京都で流通する食肉から分離された大腸菌の薬剤耐性 <報文>」 第 60 巻第 3 号 p. 45~51 西野由香里\* 下島優香子 森田加奈 井田美樹 福井理恵 黒田寿美代 平井昭彦 新藤哲也 貞升健志 東京都健康安全研究センター

「LC/Tribrid Orbitrap による強壮系健康食品中の Phosphodiesterase-5 阻害薬および構造類似体の分析 <報文>」 第 60 巻第 4 号 p. 96~107 坂本美穂\*<sup>1</sup> 蓑輪佳子<sup>1</sup> 岸本清子<sup>1</sup> 中嶋順一<sup>1</sup> 鈴木 仁<sup>1</sup> 守安貴子<sup>1</sup> 深谷晴彦<sup>2</sup> 斉藤貢一<sup>3</sup> <sup>1</sup> 東京都健康安全研究センター <sup>2</sup> 東京薬科大学 <sup>3</sup> 星薬科大学

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業 4）

- ・厚生労働省厚生労働科学研究の若手研究者育成活用事業の補助事業者について、令和 2 年度は 1 名の採用があったが 12 月で退職となり、2 月から改めて 1 名を新規に採用した。

〔5〕その他

- ・令和 2 年度は、コロナ禍の中、メルマガ配信事業は継続したが、集会は企画できなかった。

会員限定メルマガの配信（月 2 回）

創立 60 周年事業

記念式典（中止）

食品衛生学雑誌 第 61 巻 6 号、第 62 巻 1 号に 60 周年記念記事を掲載

創立 60 周年記念 表彰

功労賞 10 名、感謝状 28 社（賞状等を郵送した。）

#### 〔6〕 総会・理事会の開催

- ・ 令和 2 年度総会を下記のとおり行った。

開催日 令和 2 年 6 月 15 日（月） 午後 3 時～3 時 30 分  
場 所 東京都・食品衛生センター5 階 会議室  
議 案 令和元年度事業報告および決算報告・監査報告

- ・ 令和 2 年度理事会を下記のとおり行った。

##### 第 1 回理事会（書面）

開催日 令和 2 年 5 月 7 日  
場 所 東京都渋谷区神宮前 2 丁目 6 番 1 号 食品衛生センター内  
報告事項 業務執行状況  
議 案 入会者の承認  
退会扱い者の承認  
令和元年度事業報告案および決算報告案および監査報告  
購読会員について  
総会、60 周年式典、公開講演会、第 116 回学術講演会、ブロッ  
クイベントの開催について令和元～2 年度役員候補者について  
令和 2 年度通常総会招集通知について  
厚生労働省食品の安全確保推進研究事業に係る取扱規程  
令和 2 年度メルマガ委員会委員について  
令和 3 年度学会賞等選考委員会委員について

##### 第 2 回理事会（書面）

開催日 令和 2 年 7 月 22 日  
場 所 日本食品衛生学会事務局  
報告事項 総会開催について  
議 案 入会者の承認  
第 116 回学術講演会 WEB 開催について  
来年度以降の第 117 回～120 回学術講演会開催地について

##### 第 3 回（書面）理事会

開催日 令和 2 年 10 月 30 日  
場 所 日本食品衛生学会 事務局  
報告事項 業務執行理事報告

議案 今後の予定  
入会者の承認  
メルマガ委員会運営要領の変更  
生活科学コンソーシアム シンポジウムの開催の件

#### 第4回理事会

開催日 令和3年2月12日  
場 所 ZOOM 会議  
報告事項 各事業の報告と業務執行理事の報告  
議案 入会者の承認  
名誉会員・特別会員について  
令和3年度学会賞等受賞者について  
第61巻食品衛生学雑誌論文賞について  
中期運営計画  
令和3年度事業計画案および予算案および資金調達及び設備投資の見込みについて  
投稿規定 別表1の変更

#### 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規則する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」は存在しない。